



2021年5月13日

各 位

会社名 大阪瓦斯株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原 正隆
(コード：9532 東・名証第1部)
問合せ先 IR部長 松井 宏樹
(TEL. 06-6205-4715)

(訂正)「2021年3月期決算プレゼンテーション資料」の一部訂正について

2021年4月27日に開示いたしました、「2021年3月期決算プレゼンテーション資料」について一部訂正がありましたのでお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。訂正後の説明資料は当該お知らせに添付いたしております。

記

【訂正箇所】

32 ページ 減価償却費

<訂正前>

- ・ 22.3期見通し 1,195 億円
- ・ 22.3期見通しと 21.3期実績の増減 +180 億円

<訂正後>

- ・ 22.3期見通し 1,055 億円
- ・ 22.3期見通しと 21.3期実績の増減 +40 億円

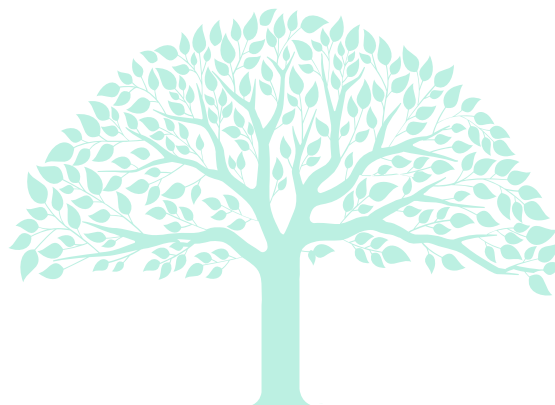
以上



2021年3月期決算 プレゼンテーション資料

Creating Value for a Sustainable Future

2021年4月
大阪ガス株式会社



*2021年5月13日に2022年3月期見通しを一部訂正。

目次

I. ミライ価値の共創に向けた取り組み

- 中期経営計画2023-Creating Value for a Sustainable Future - 3
- 低・脱炭素社会の実現 - 4-5
- Newノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現 - 6
- お客さまと社会のレジリエンス向上 - 7
- 21.3期の主なトピックス - 8-9

II. 21.3期決算と22.3期見通しの概要

- 21.3期決算のポイント - 11
- 22.3期見通しのポイント - 12
- 21.3期決算の対前年比較 - 13
- 21.3期決算の対見通し比較 - 14
- 22.3期見通しの対前年比較 - 15
- 成長投資 - 16
- 中期経営計画2020の振り返り - 17

III. 21.3期決算

- 21.3期決算の対前年比較 - 19-23
- 21.3期セグメント別実績 - 24-26
- 21.3期決算の対見通し比較 - 27-28

IV. 22.3期見通し

- 22.3期見通しの対前年比較 - 30-34
- 22.3期セグメント別見通し - 35-37
- 年度見通しに対するリスク要因 - 38

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記URLから決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。

<https://www.osakagas.co.jp/company/ir/>

「見通し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。

連結ガス販売量に関する注記：名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

I. ミライ価値の共創に向けた取り組み



「中期経営計画2023-Creating Value for a Sustainable Future」

重点戦略

- I. **ミライ価値の共創**：社会課題解決に向けた価値創造を追求し、ステークホルダーと共に実現
- II. **企業グループとしてのステージ向上**：強靱な事業ポートフォリオ構築と進化を支える経営基盤の強化

重点取り組み



- 1. 低・脱炭素社会の実現
- 2. Newノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現
- 3. お客さまと社会のレジリエンス向上

- 1. 事業ポートフォリオ経営の進化
- 2. デジタルトランスフォーメーションによる事業変革
- 3. 従業員一人ひとりの価値の最大化

2023年度への成長 ROIC 5%程度、営業CF 1.5倍※、利益成長に応じた株主還元

※2021-2023年度の3か年累計計画÷2018-2020年度の3か年度累計見通し

低・脱炭素社会の実現 - 国内外における再生可能エネルギー普及貢献

- ✓ 21年3月末時点の再生可能エネルギー普及貢献量は、電源開発、環境価値を含めた電力調達の合計で約105万kW

21年3月期～の主な取り組み

		発電所/調達先	設備/契約容量
電源 開発	バイオマス	(仮称)愛知田原バイオマス発電所の事業化決定	7.5万kW
		市原バイオマス発電所の商業運転開始	5.0万kW
		日向バイオマス発電所の事業化決定	5.0万kW
	太陽光	桑原城メガソーラー(No.4)の取得	1.2万kW
		茨城県北茨城市磯原町特高発電所の取得	3.5万kW
風力	野辺地陸奥湾風力発電所への共同出資	4.0万kW	
電力調達	(株)ウエストホールディングスと調達契約締結	20.0万kW	

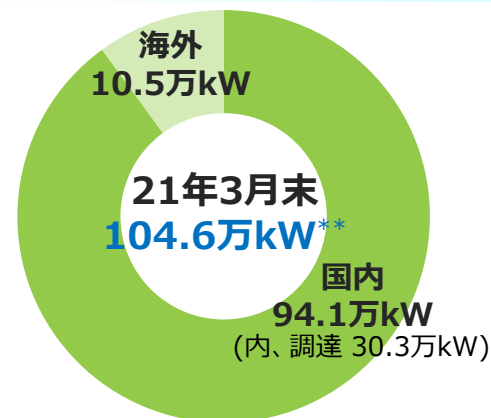


市原バイオマス発電所



茨城県北茨城市磯原町特高発電所

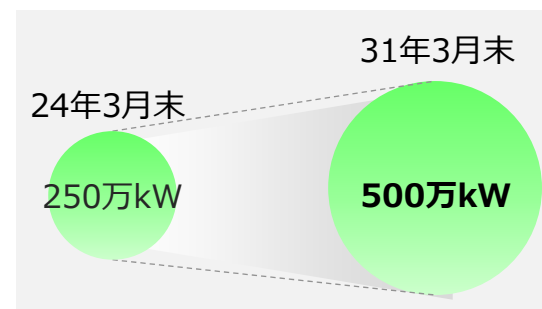
再生可能エネルギー普及貢献量*



*FIT制度の適用電源を含む

**意思決定済/建設中の電源を含む

中期経営計画2023目標



低・脱炭素社会の実現 - CO₂排出削減貢献

- ✓ 天然ガスへの燃料転換、天然ガスの高度利用等のCO₂排出削減に向けた取り組みを、国内外で実施

中期経営計画2023の目標

- 2030年度 CO₂排出削減貢献 1,000万t/年
*現在の当社グループおよびお客さま先におけるCO₂排出量(約3,300万t/年)の約3分の1に相当

燃料転換

- ベトナム食品工場における燃料転換事業に参画
 - ✓ 石炭から天然ガスへの燃料転換
 - ✓ 10年間で約7.6万tのCO₂排出量削減に貢献(約7.6千t/年)



エースコックベトナム(株)
フンイエン工場



エースコックベトナム(株)
ビンズオン工場

天然ガスの高度利用

- 三井化学工場内にて高効率ガスタービン発電システムの営業運転開始
 - ✓ 約7万t/年のCO₂排出量削減に貢献



三井化学(株)高効率ガスタービン発電システム

- タイ国におけるSpiber社向けオンサイト・ユーティリティ供給事業の開始



Spiber(株)構造タンパク質の量産プラント

Newノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現

- ✓ 脱炭素の推進やコロナ禍への対応に取り組むお客さま向けの料金メニュー、お客さまの課題解決に貢献するサービスメニュー等、お客さま毎に最適な料金・サービスメニューを拡充
- ✓ 21年3月末時点のお客さまアカウント数は、前年から30万件増加の940万件

電気料金メニューの拡充



: 脱炭素の推進に取り組む法人のお客さま向け



スタイルプランE-ZERO B
スタイルプランE-ZERO 動力

: 環境にやさしい電気を利用したいお客さま向け

動力用プランAir
動力用プランAirダブル

: 飲食店・商店・事務所等で三密状況をモニタリングしたいお客さま向け

動力用プラン
あんしんプラス

: 飲食店・商店・事務所等で停電リスクを未然に軽減したいお客さま向け

サービスメニューの拡充



: お客さまの施設の屋根に太陽光発電システムを設置し発電した電力をお客さまへ供給

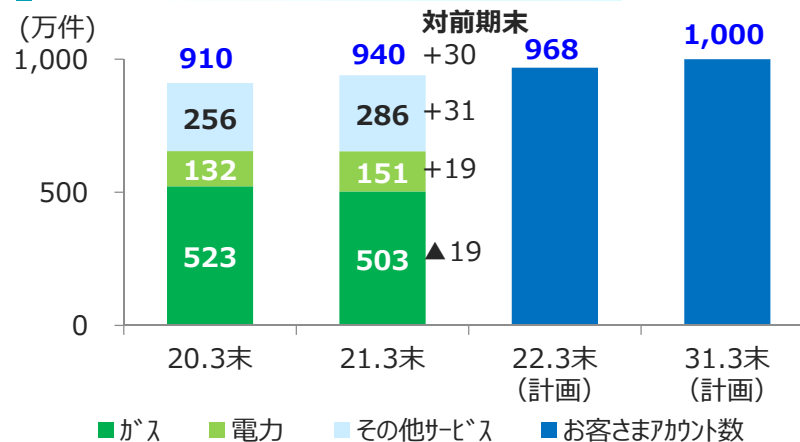


: 水処理サービスのワンストップサービス



: 家庭の悩みを解決するプリント管理アプリ

お客さまアカウント数

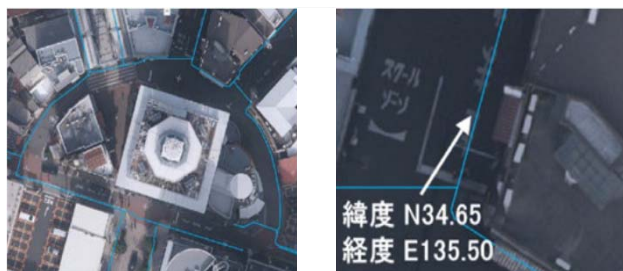


お客さまと社会のレジリエンス向上

✓ ガス・電力サプライチェーンのレジリエンス向上に向けた取り組みを着実に推進

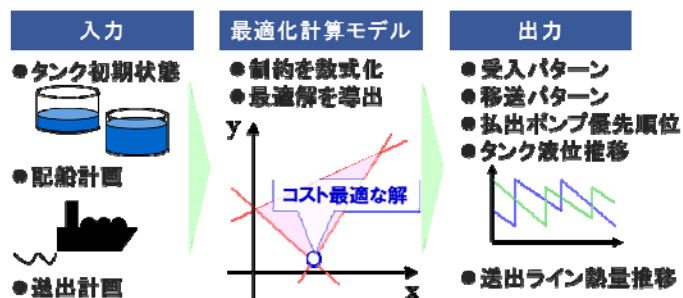
ガスサプライチェーン

- 導管マッピングシステムの絶対座標化
 - ✓ 20年度に全地区の絶対座標化完了



- LNGタンク操業計画の最適化

✓ 21年度から試運用開始



- その他の主な取り組み

- ✓ 尼崎・久御山ラインの工事推進
- ✓ AIレーダーロケータの製品化
- ✓ スマートメーターシステムの導入

電力サプライチェーン

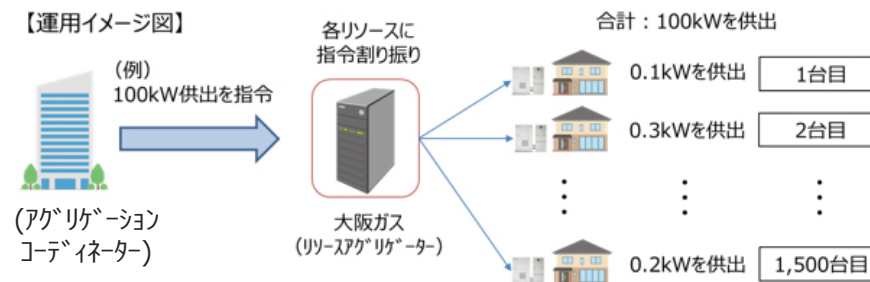
- 福島天然ガス発電所(118万kW)の営業運転開始

- ✓ 20年4月 1号機営業運転開始
- ✓ 20年8月 2号機営業運転開始



福島天然ガス発電所

- 家庭用燃料電池エネファームによるバーチャルパワープラント(VPP)構築実証事業



21.3期の主なトピックス-①

4月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「扇島都市ガス供給株式会社」の都市ガス製造・供給設備の商業運転開始 ➤ 大阪ガスとNTT ComがAI自動音声応対によるコンタクトセンター受付サービスを開始 ➤ ドローンを活用したインフラ点検ソリューションを提供する株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマークへの出資 ➤ 画像解析を中心に優れたAI技術を保有するベンチャー企業株式会社HACARUSへの出資
5月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 福島天然ガス発電所1号機の営業運転開始 ➤ 大阪ガスによるグローバルベイス社の株式取得 ➤ IoTプラットフォームを活用したシャープとの機器連携の開始
6月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 家庭用燃料電池エネファームによるバーチャルパワープラント(VPP)構築実証事業を開始 ➤ シンガポールSQC Investment Pte. Ltd.への出資によるベトナムでの産業ガス製造・販売事業への参画
7月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ウィズプラン第3弾！「ウィズABEMAプラン」の受付開始 ➤ 自営等BWAシステムを活用したDX推進による現場業務の効率化 ➤ IoT対応ツナガルde警報器「スマぴこ」の発売と災害・防犯情報提供に関する大阪市、大阪府警察との連携 ➤ 「ハートフル弁当プロジェクト」の実施 ➤ (仮称) 佐賀県唐津市沖洋上風力発電事業に係る『計画段階環境配慮書』の送付および縦覧
8月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公募型ハイブリッド社債（公募劣後特約付社債）の発行に関するお知らせ ➤ ソニーネットワークコミュニケーションズとのIoT機器連携の開始 ➤ 賃貸集合住宅における利便性およびセキュリティの向上を目指した協業 ➤ 福島天然ガス発電所2号機の営業運転開始 ➤ 米国・イリノイ州における天然ガス火力発電事業への参画 ➤ ウエストホールディングスとの再エネ電力調達に関する契約締結
9月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公募型ハイブリッド社債（公募劣後特約付社債）の発行条件決定に関するお知らせ ➤ 2020年度 全社総合防災訓練の実施 ➤ ご自宅からWebで参加できる「おうちで！みんなで！つながるガステん」を開催 ➤ 住まいのお困りごとを解決し安心をお届けする「住ミカタ・サービス」のサービスメニュー拡充、及び住ミカタ会員数40万人突破
10月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大阪ガスによるパレットクラウド社の株式取得 ➤ 導管部門分社化の方向性 ➤ 大阪ガスの新電気料金メニュー「ミライトでんき」の受付開始 ➤ 再生可能エネルギーと地域が共に発展していくことを目指して5社で「FOURE構想」の共同検討に合意 ➤ Osaka Gas Niugini Pty Ltd の株式譲渡 ➤ 陸上風力発電事業への共同出資

21.3期の主なトピックス-②

11月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 愛知県田原市におけるバイオマス発電所の事業化決定 ➤ 新潟県長岡市における液化炭酸ガス製造プラントの商業運転開始
12月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ スマートメーターシステムの共同開発に関する合意 ➤ 千葉県市原市におけるバイオマス発電所の商業運転開始 ➤ 合同会社D&Dソーラーへの出資および同社を通じた鹿児島県出水市における太陽光発電所の取得
1月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Daigasグループ カーボンニュートラルビジョンの策定～2050年脱炭素社会実現に向けた挑戦～ ➤ 都市ガスの脱炭素化に貢献「革新的メタネーション」実現のキーとなる新型SOECの試作に成功 ➤ 脱炭素化に貢献するケミカルルーピング燃焼技術の研究開発の開始 ➤ 三井化学大阪工場にて高効率ガスタービン発電システムの営業運転を開始 ➤ ウエストホールディングスとの太陽光電力調達に関する契約締結
2月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 合同会社D&Dソーラーを通じた茨城県北茨城市における太陽光発電所の取得 ➤ よりお得に！より便利に！より安全に！会員サイト「マイ大阪ガス」のリニューアル ➤ マンションライブに新しい付加価値を提供する『たかつきMe:LIFE（ミライフ）』始動
3月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大阪ガスの新電気料金メニュー「動力用プランAir」、「動力用プランAirダブル」、「動力用プランあんしんプラス」の受付開始 ➤ 役員の異動、人事異動および機構改正のご通知 ➤ 導管部門の分社化に向けた分割準備会社の設立 ➤ 譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ ➤ 配当予想の修正および次期配当予想に関するお知らせ ➤ Daigasグループ中期経営計画2023「Creating Value for a Sustainable Future」、2021年度Daigasグループ 経営計画 ➤ ベトナム食品工場における燃料転換事業に参画 ➤ 水処理ビジネスにおける業務提携～ワンストップサービス「D-Aqua」によるサービス拡大～ ➤ 家庭の悩みを解決するプリント管理アプリ「プリゼロ」のサービス開始と子育て・子育て支援に関する豊中市との連携 ➤ 脱炭素社会の実現に向けた「カーボンニュートラル都市ガス」の申込受付開始 ➤ 脱炭素社会の実現に向けた大阪ガスの電気料金メニュー「スタイルプランE-ZERO」拡充 ➤ 脱炭素社会の実現に向けた大阪ガスの新電気料金メニュー「D-Green」シリーズの申込受付開始
4月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ タイ国におけるSpiber社向けオンサイト・ユーティリティ供給事業の開始 ➤ グリーンアンモニア分野の米国スタートアップ Starfire社への出資 ➤ 宮崎県日向市における地域との共生を目指すバイオマス発電所の事業化決定

*プレスリリース実施月を記載

Ⅱ. 21.3期決算と22.3期見通しの概要



21.3期決算のポイント

- ✓ 経常利益は、フリーポートLNGプロジェクト、サビン・シェールガスプロジェクトの利益貢献による海外エネルギー事業の増益、国内エネルギー・ガス事業及び電力事業の増益等により、**前年比48.5%(417億円)増益の1,277億円**
- ✓ スライド差損益控除後の経常利益は、**前年比62.8%(499億円)増益の1,294億円**
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益は、**前年比93.5%(390億円)増益の808億円**

億円	A. 21.3期実績	B. 20.3期実績	A-B	(A-B)/B	備考
経常利益	1,277	860	+417	+48.5%	フリーポートLNGプロジェクト、サビン・シェールガスプロジェクトの利益貢献による海外エネルギー事業の増益、国内エネルギー・ガス事業及び電力事業の増益等
スライド差損益*	-16	65	-81	-	
スライド差損益控除後経常利益	1,294	795	+499	+62.8%	
親会社株主に帰属する当期純利益	808	417	+390	+93.5%	21.3期 減損損失 190 20.3期 減損損失 155

* (個別)ガス事業の内数

		A. 21.3期実績	B. 20.3期実績	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	43.4	67.8	-24.4	21.3期実績は3月速報値までの平均
為替	円/\$	106.1	108.7	-2.6	

22.3期見通しのポイント

- ✓ 経常利益は、海外エネルギー事業の増益はあるが、国内エネルギー事業の減益が上回る等により、**前年比25.6%(327億円)減益の950億円**
- ✓ タイムラグ差損益控除後の経常利益は、**前年比15.1%(190億円) 減益の1,069億円**
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度の海外エネルギー事業における減損損失の反動はあるが、**前年比12.8%(103億円)減益の705億円**

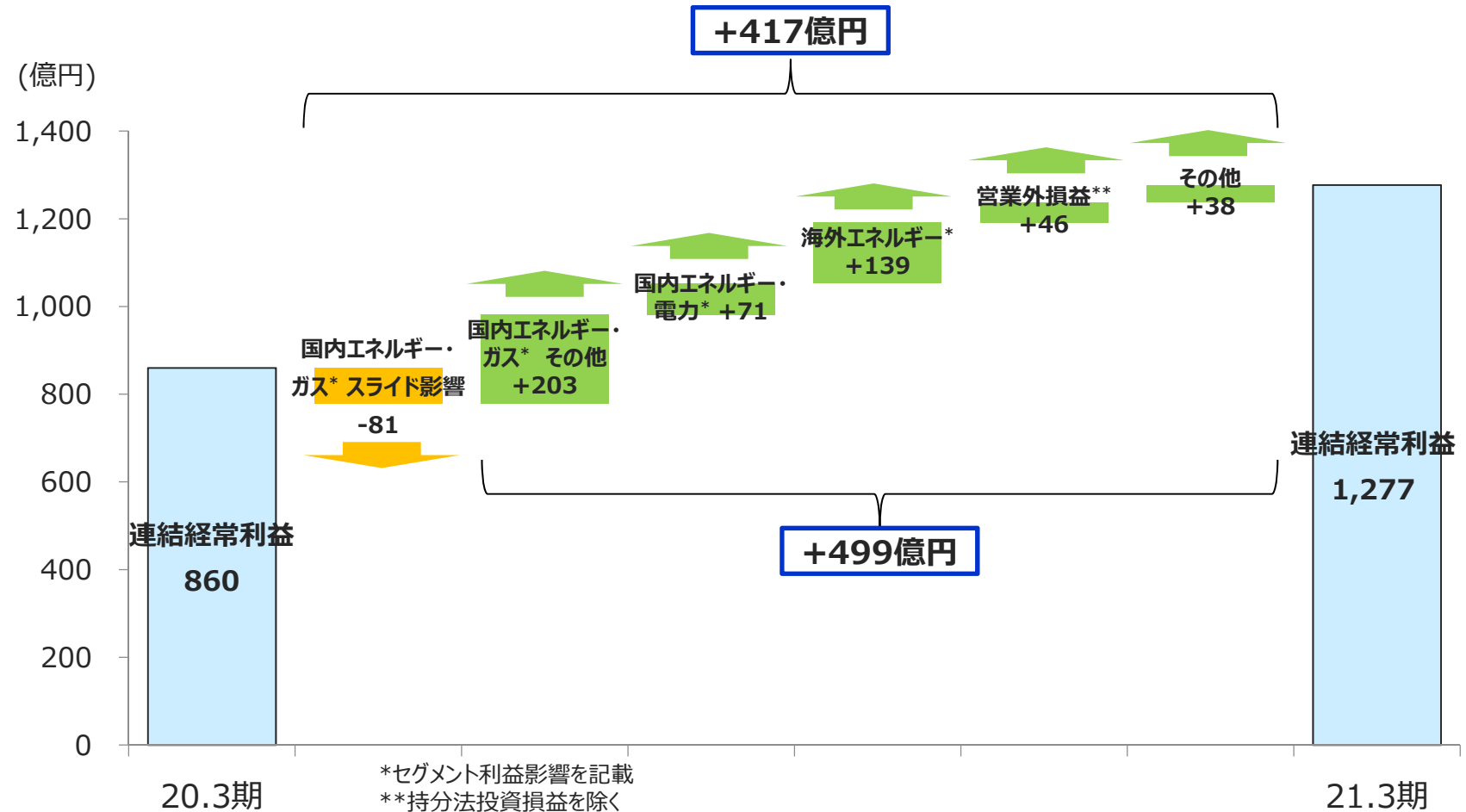
億円	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
経常利益	950	1,277	-327	-25.6%	海外エネルギー事業の増益を国内エネルギー事業の減益が上回ること等
タイムラグ差損益*	-119	16	-136	-	
タイムラグ差損益控除後 経常利益	1,069	1,260	-190	-15.1%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	705	808	-103	-12.8%	21.3期 減損損失 190

* (個別)ガス事業・電力事業の内数

		A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	60.0	43.4	+16.7	21.3期実績は3月速報値までの平均
為替	円/\$	105.0	106.1	-1.1	

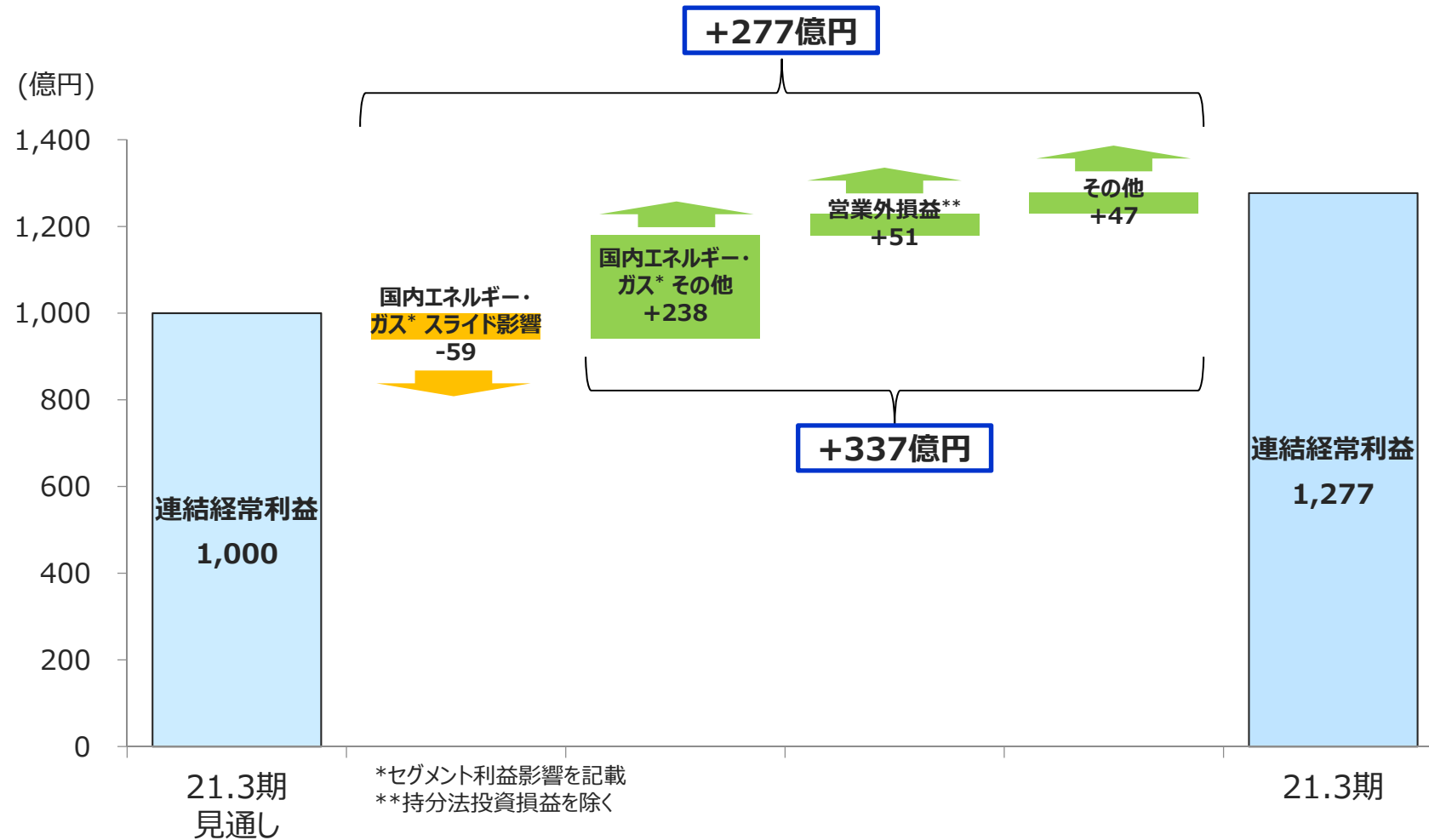
21.3期決算の対前年比較(経常利益)

- ✓ 21.3期の連結経常利益は、フリーポートLNGプロジェクト、サビン・シェールガスプロジェクトの利益貢献による海外エネルギー事業の増益、国内エネルギー・ガス事業における冬場の低気温影響及び国内エネルギー・電力事業の増益等により、前年から417億円増益の1,277億円



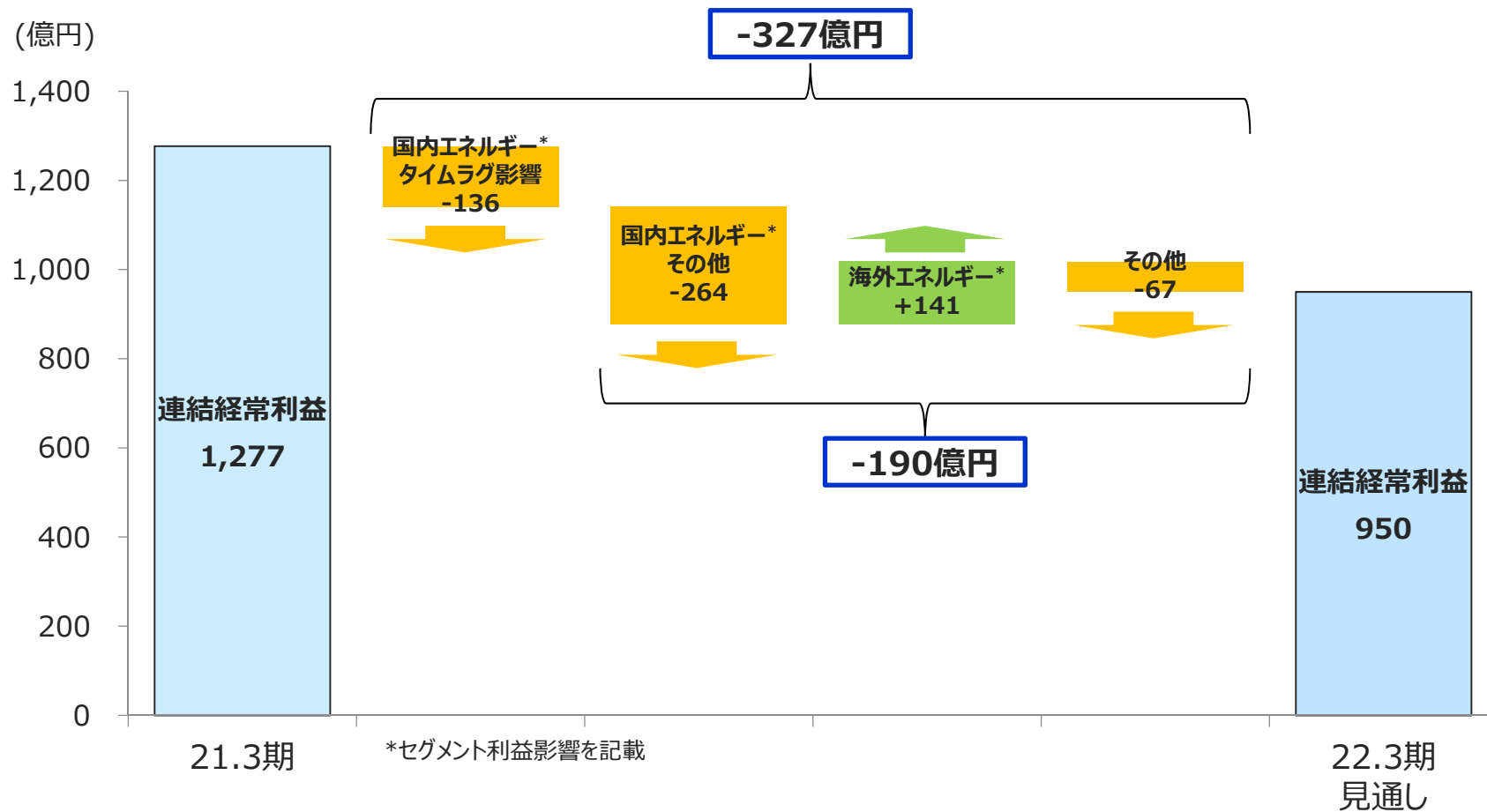
21.3期決算の対見通し比較(経常利益)

- ✓ 21.3期の連結経常利益は、国内エネルギー・ガス事業における冬場の低気温影響等により、見通しから277億円の増益



22.3期見通しの対前年比較(経常利益)

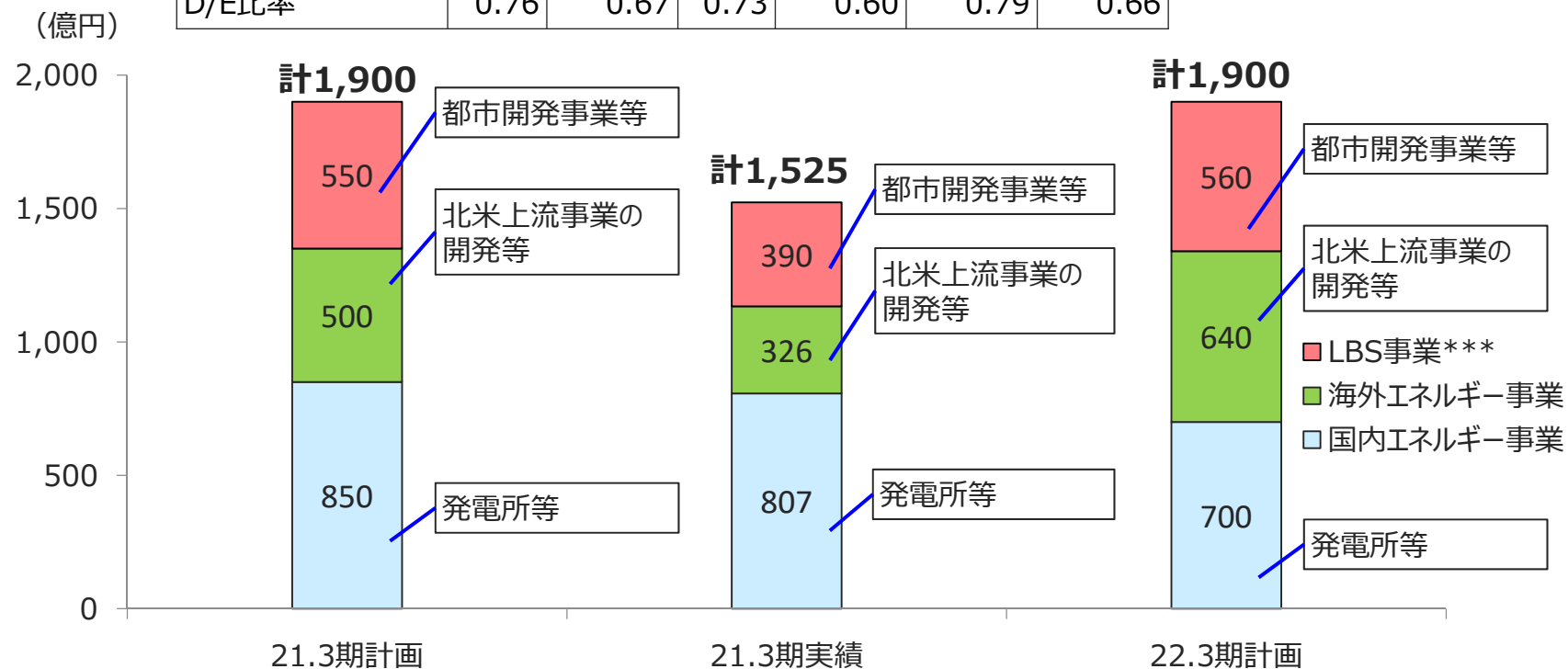
- ✓ 22.3期の連結経常利益見通しは、海外エネルギー事業の増益はあるが、国内エネルギー事業における冬場の低気温影響の反動、タイムラグ差損益の減益等により、前年から327億円減益の950億円



成長投資

- ✓ 国内エネルギー事業における発電所、北米上流事業の開発、都市開発事業等に1,525億円の成長投資を実行
- ✓ 財務健全性は、ハイブリッド社債の発行等により、自己資本比率50%程度、D/E比率0.7程度を維持

	20.3期末		21.3期末		22.3期見通し	
		調整後**		調整後**		調整後**
自己資本比率(%)	46.6	48.9	46.8	50.5	45.7	49.3
D/E比率	0.76	0.67	0.73	0.60	0.79	0.66



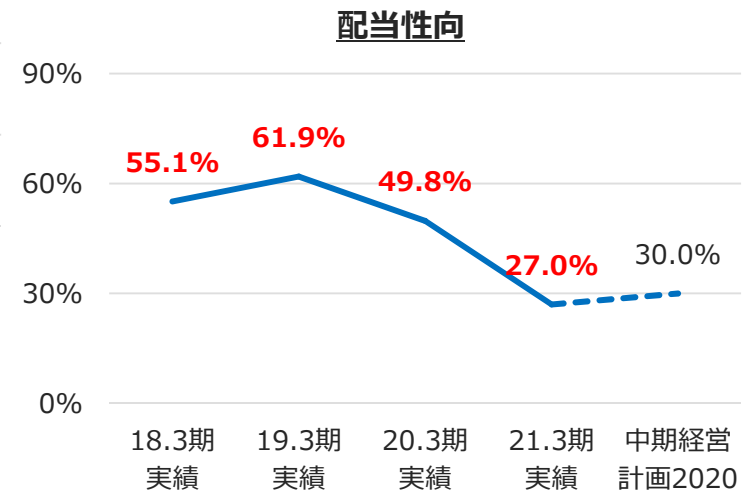
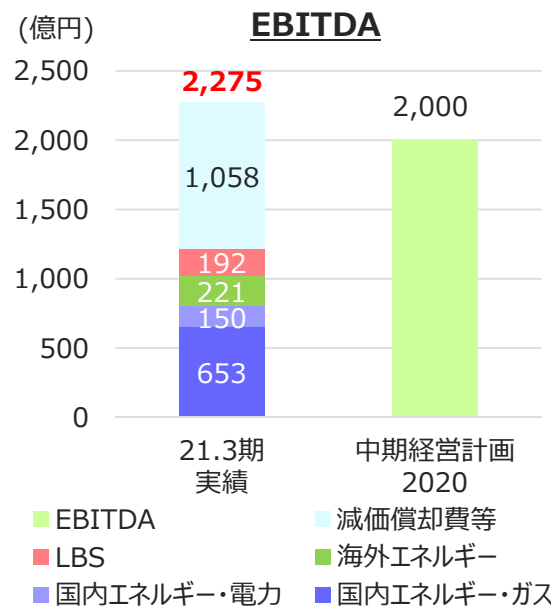
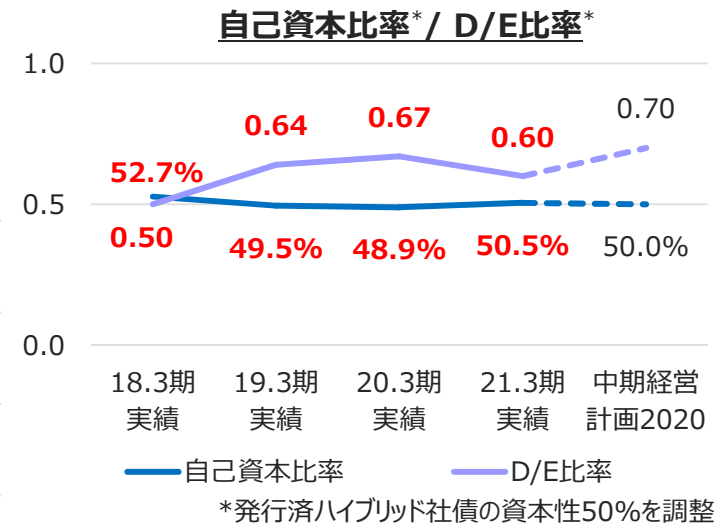
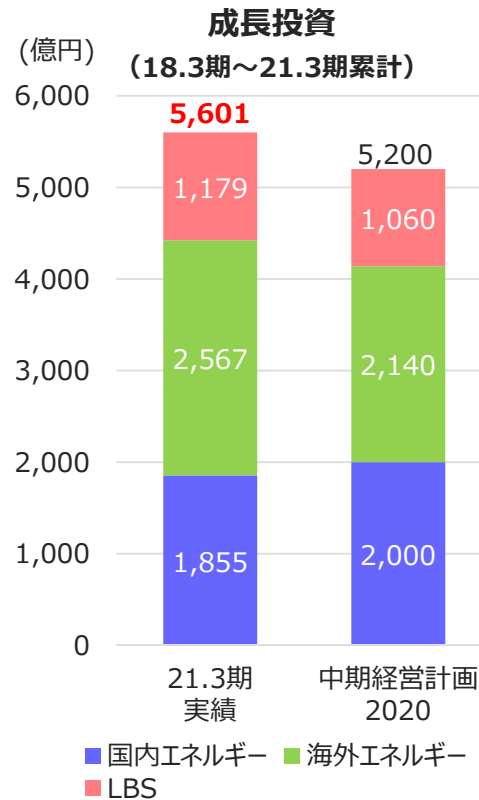
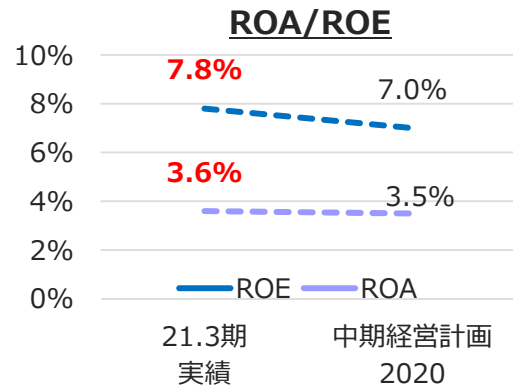
* 投資実行額には設備投資案件と投融資案件の両方を含むため、設備投資の実績値とは異なる

** 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整(19年12月:1,000億円 20年9月:750億円)

***ライフ&ビジネス ソリューション事業

中期経営計画2020の振り返り

✓ 一時的な増益要因もあり、中期経営計画2020の目標を概ね達成



III. 21.3期決算



21.3期決算の対前年比較 - ①

億円	A. 21.3期 実績	B. 20.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	13,641	13,686	-45	-0.3%	
営業利益	1,124	837	+286	+34.3%	
経常利益	1,277	860	+417	+48.5%	フリーポートLNGプロジェクト、サビン・シェールガスプロジェクトの利益貢献による海外エネルギー事業の増益、国内エネルギー・ガス事業及び電力事業の増益等
スライド差損益*	-16	65	-81	-	
スライド差損益控除後 経常利益	1,294	795	+499	+62.8%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	808	417	+390	+93.5%	21.3期 減損損失 190 20.3期 減損損失 155
一株あたり当期純利益(円)	194.5	100.5	+94.0	+93.5%	
EBITDA**	2,275	1,809	+466	+25.8%	

* (個別)ガス事業の内数

** EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(のれん償却費含む) + 持分法投資損益

		A. 21.3期 実績	B. 20.3期 実績	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	43.4	67.8	-24.4	21.3期実績は3月速報値までの平均
為替	円/\$	106.1	108.7	-2.6	

21.3期決算の対前年比較 - ②

億円	A. 21.3期末 実績	B. 20.3期末 実績	A-B	備考
総資産	23,133	21,404	+1,728	成長投資の進捗等
自己資本	10,818	9,974	+843	
一株当たり純資産(円)	2,602.2	2,399.1	+203.1	
有利子負債	7,853	7,540	+313	社債発行等
ハイブリッド社債	1,750	1,000	+750	

	A. 21.3期 実績	B. 20.3期 実績	A-B	備考
ROE	7.8%	4.2%	+3.6%	
ROA	3.6%	2.0%	+1.6%	

	A. 21.3期末 実績	B. 20.3期末 実績	A-B	備考
自己資本比率	46.8%	46.6%	+0.2%	
ハイブリッド社債考慮後*	50.5%	48.9%	+1.6%	
D/E比率	0.73	0.76	-0.03	
ハイブリッド社債考慮後*	0.60	0.67	-0.08	

*発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

21.3期決算の対前年比較 - ③

億円	A. 21.3期 実績	B. 20.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,197	1,828	+369	
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,983	-2,322	+339	
フリーキャッシュフロー*	214	-493	+708	

*フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

億円	A. 21.3期 実績	B. 20.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	688	574	+113	
成長投資	1,525	1,683	-158	
国内エネルギー	807	404	+403	発電所等
海外エネルギー	326	953	-627	北米上流事業の開発等
LBS	390	325	+65	都市開発事業等
設備投資	1,894	1,310	+584	
減価償却費	1,014	919	+95	

21.3期決算の対前年比較 - ④

	A. 21.3期 実績	B. 20.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	9,401	9,102	+299	+3.3%	
(個別)ガス供給件数(千件)	5,031	5,225	-194	-3.7%	
低圧電気供給件数(千件)	1,510	1,322	+188	+14.2%	
連結ガス販売量(百万m ³)	7,157	7,362	-206	-2.8%	
(個別)ガス販売量	7,121	7,324	-203	-2.8%	
家庭用	1,862	1,798	+64	+3.6%	気水温影響 +122, 調定件数 -53
一戸あたりガス販売量 (m ³ /月)	31.6	29.2	+2.4	+8.3%	
業務用等	5,259	5,526	-267	-4.8%	設備稼働増減 -243
国内電力販売量(百万kWh)	16,133	13,189	+2,944	+22.3%	
小売	5,721	4,617	+1,104	+23.9%	
卸等	10,412	8,572	+1,840	+21.5%	取引所向け増等

	A. 21.3期 実績	B. 20.3期 実績	A-B	備考
平均気温(℃)	17.6	17.8	-0.2	

21.3期決算の対前年比較 - ⑤

連結：億円	A. 21.3期実績	B. 20.3期実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	13,641	13,686	-45	-0.3%	
国内エネルギー・ガス	9,160	9,769	-608	-6.2%	ガス販売単価低下等
国内エネルギー・電力	2,472	2,015	+457	+22.7%	販売量増等
海外エネルギー	691	612	+79	+13.0%	サビン・シェールガスプロジェクトの増収等
LBS	2,165	2,194	-28	-1.3%	
調整	-850	-905	+54	-	

セグメント利益**	1,261	890	+370	+41.7%	
国内エネルギー・ガス	653	532	+121	+22.8%	冬場の低気温影響等
国内エネルギー・電力	150	78	+71	+91.4%	販売量増等
海外エネルギー	221	81	+139	+170.9%	フリーポートLNGプロジェクト、サビン・シェールガスプロジェクトの利益貢献等
LBS	192	196	-4	-2.2%	
調整	43	1	+42	-	

スライド差損益***	-16	65	-81	-	
ヘッジ会計適用外のデリバティブ時価評価影響****	-70	-25	-44	-	

*20年4月に(株)ガスアンドパワー（国内エネルギー・電力）をDaigasガスアンドパワーソリューション(株)（国内エネルギー・ガス）に吸収合併。

20.3期実績はこの影響を考慮して算定

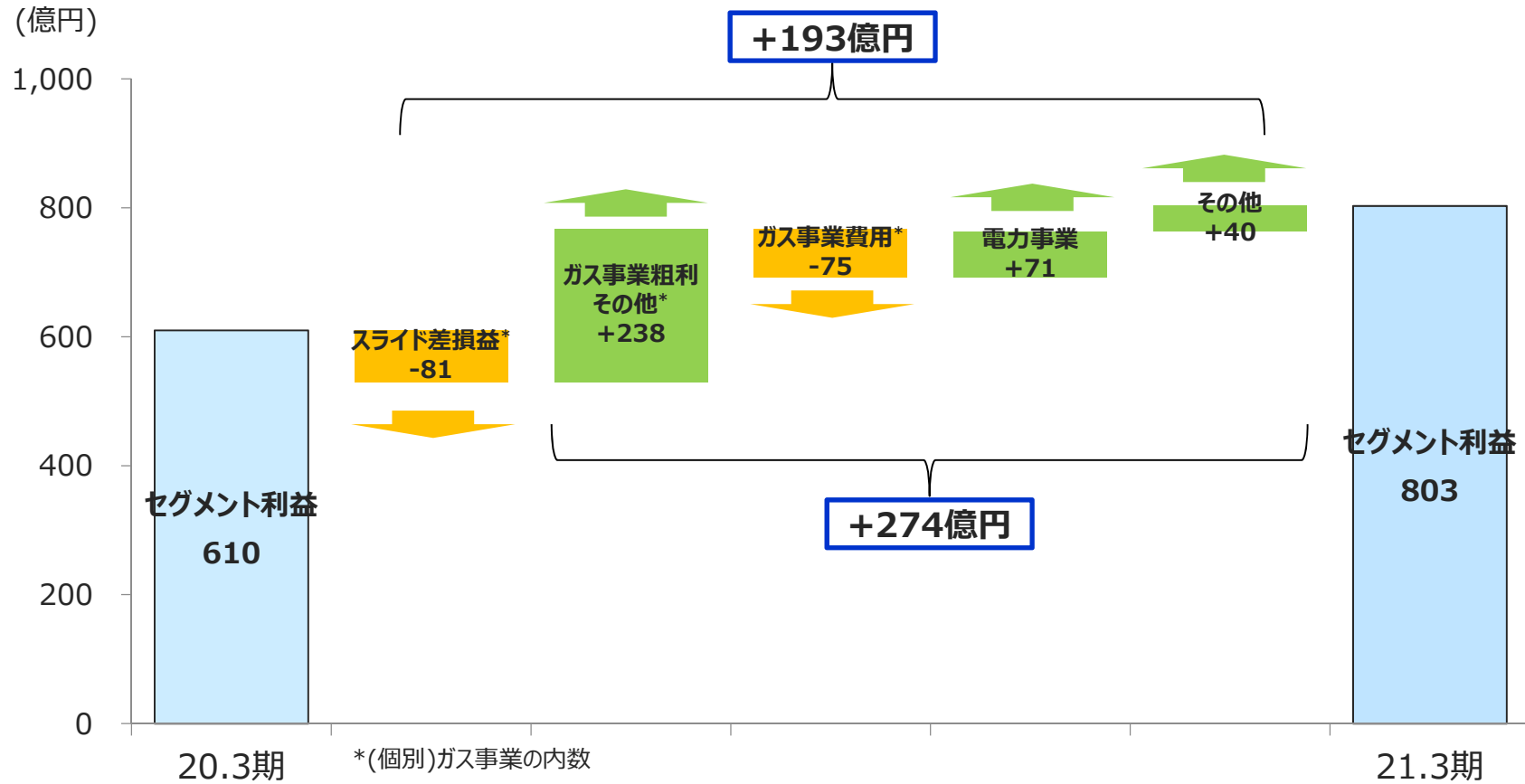
**セグメント利益 = 営業損益 + 持分法投資損益

***国内エネルギー・ガスの内数

****海外エネルギーの内数

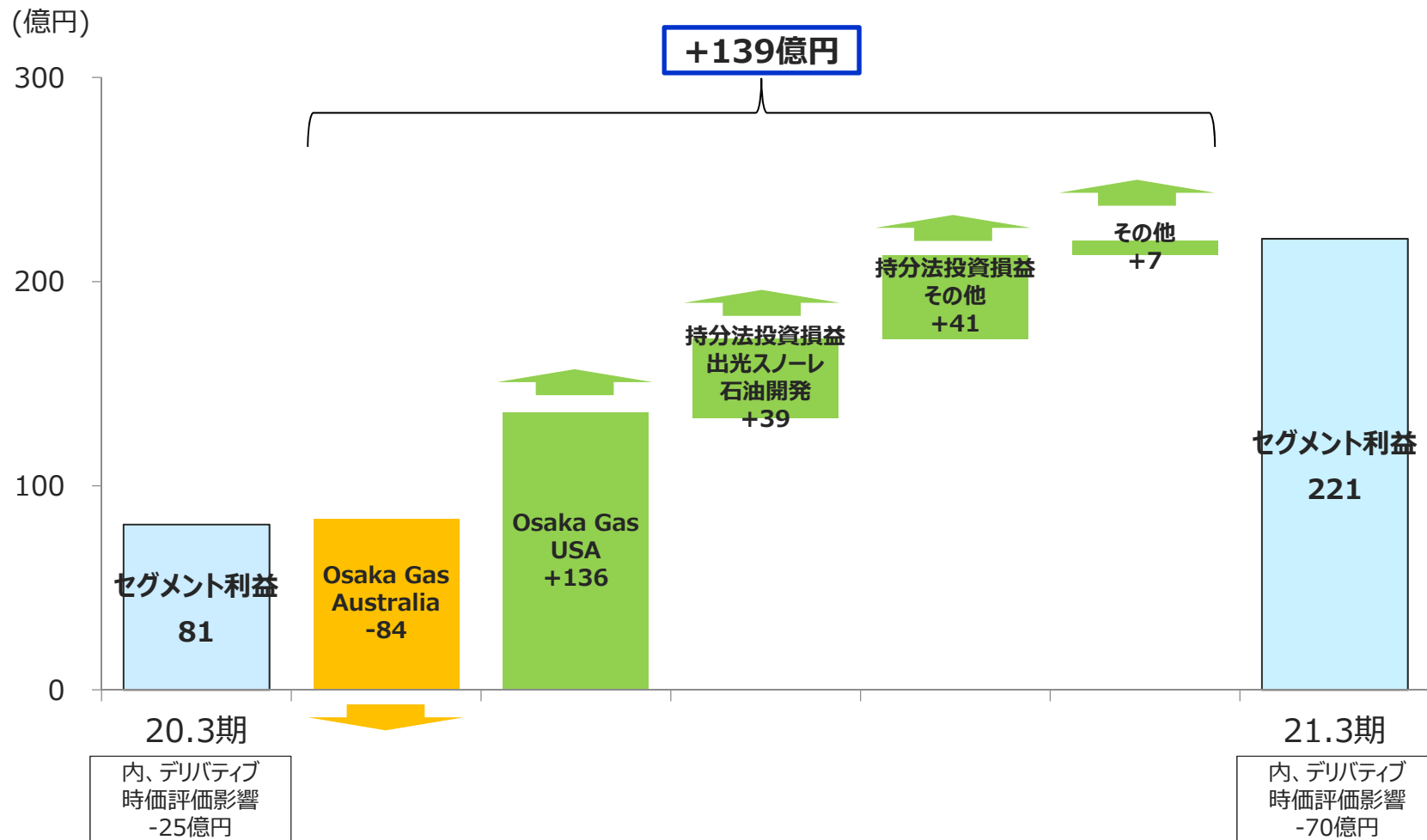
21.3期セグメント別実績- 国内エネルギー(ガス+電力)

- ✓ 国内エネルギーのセグメント利益は、冬場の低気温影響、電力事業の増益等により、前年から193億円増益の803億円



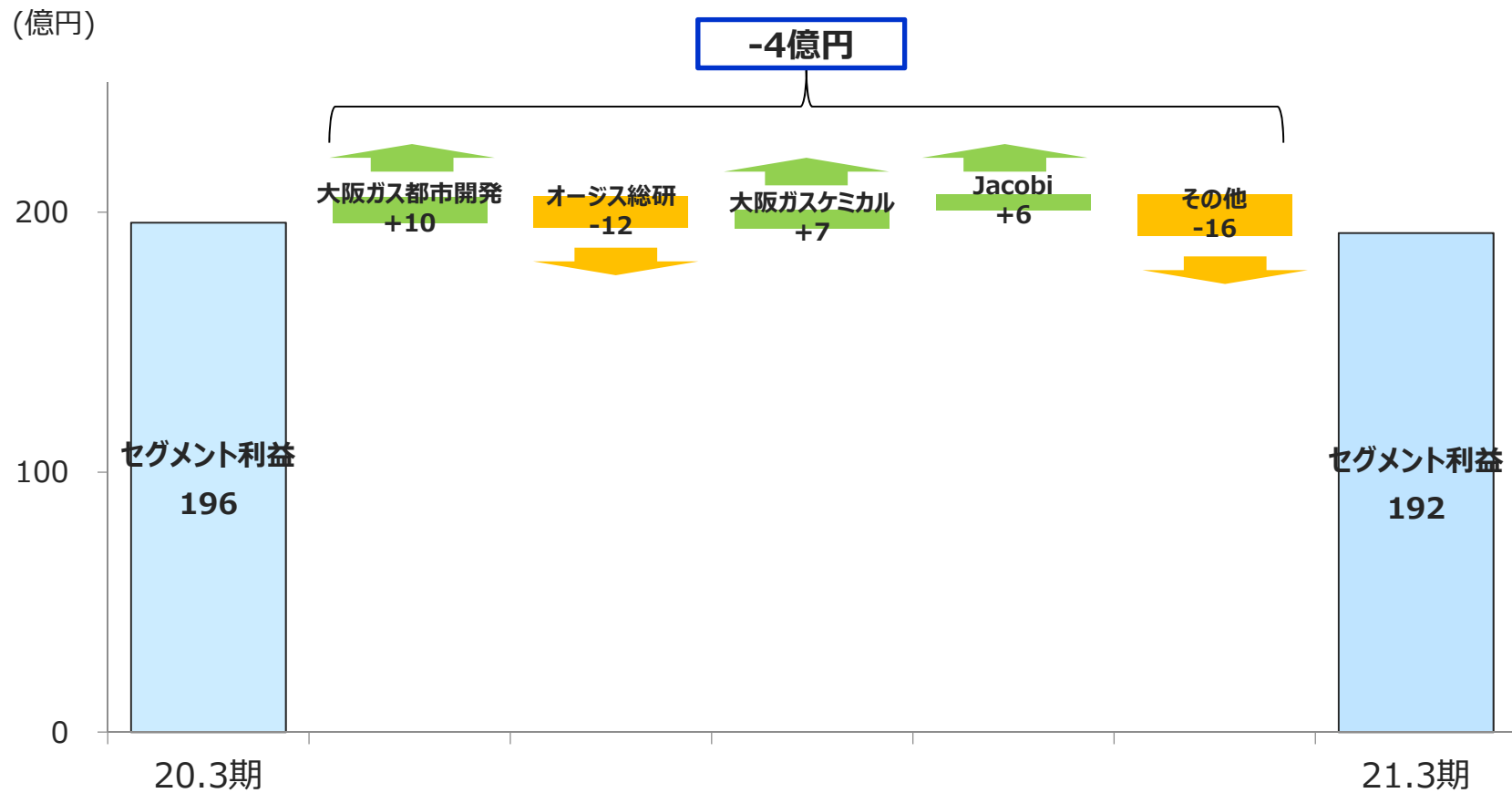
21.3期セグメント別実績 - 海外エネルギー

- ✓ 海外エネルギーのセグメント利益は、フリーポートLNGプロジェクト、サビン・シェールガスプロジェクトの利益貢献等により、前年から139億円の増益の221億円



21.3期セグメント別実績 – LBS

- ✓ LBSのセグメント利益は、都市開発事業、材料ソリューション事業が前年から増益したが、情報ソリューション事業、フィットネス事業の減益等により、概ね前年並み



21.3期決算の対見通し比較 - ①

億円	A. 21.3期 実績	B. 21.3期 見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	13,641	13,300	+341	+2.6%	
営業利益	1,124	885	+239	+27.1%	
経常利益	1,277	1,000	+277	+27.8%	国内エネルギー・ガス事業における冬場の 低気温影響等
スライド差損益*	-16	42	-59	-	
スライド差損益控除後 経常利益	1,294	957	+337	+35.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	808	715	+93	+13.1%	21.3期 減損損失 190
一株あたり当期純利益(円)	194.5	172.0	+22.5	+13.1%	
EBITDA**	2,275	2,000	+275	+13.8%	

* (個別)ガス事業の内数

** EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(のれん償却費含む) + 持分法投資損益

		A. 21.3期 実績	B. 21.3期 見通し	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	43.4	41.3	+2.1	21.3期実績は3月速報値までの平均
為替	円/\$	106.1	105.8	+0.2	

21.3期決算の対見通し比較 - ②

連結：億円	A. 21.3期 実績	B. 21.3期 見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	13,641	13,300	+341	+2.6%	
国内エネルギー・ガス	9,160	8,635	+525	+6.1%	
国内エネルギー・電力	2,472	2,210	+262	+11.9%	
海外エネルギー	691	790	-98	-12.4%	
LBS	2,165	2,175	-9	-0.4%	
調整	-850	-510	-340	-	
セグメント利益*	1,261	1,035	+226	+21.8%	
国内エネルギー・ガス	653	475	+178	+37.5%	冬場の低気温影響等
国内エネルギー・電力	150	150	+0	+0.2%	
海外エネルギー	221	220	+1	+0.5%	
LBS	192	190	+2	+1.3%	
調整	43	-	+43	-	
スライド差損益**	-16	42	-59	-	

*セグメント利益 = 営業損益 + 持分法投資損益

**国内エネルギー・ガスの内数

IV. 22.3期見通し



22.3期見通しの対前年比較 - ①

億円	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	14,050	13,641	+408	+3.0%	ガス販売単価の上昇等
営業利益	805	1,124	-319	-28.4%	
経常利益	950	1,277	-327	-25.6%	海外エネルギー事業の増益はあるが、国内エネルギー事業における冬場の低気温影響の反動、タイムラグ差損益の減益等
タイムラグ差損益*	-119	16	-136	-	
タイムラグ差損益控除後 経常利益	1,069	1,260	-190	-15.1%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	705	808	-103	-12.8%	21.3期 減損損失 190
一株あたり当期純利益(円)	169.6	194.5	-24.9	-12.8%	
EBITDA **	2,000	2,275	-275	-12.1%	
NOPAT***	835	1,115	-280	-25.1%	

* (個別)ガス事業・電力事業の内数

** EBITDA = 営業利益 + 持分法投資損益 + 減価償却費(のれん償却費含む)

*** NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

		A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
原油価格	\$/bbl	60.0	43.4	+16.7	21.3期実績は3月速報値までの平均
為替	円/\$	105.0	106.1	-1.1	

22.3期見通しの対前年比較 - ②

億円	A. 22.3期末 見通し	B. 21.3期末 実績	A-B	備考
総資産	24,444	23,133	+1,310	成長投資の進捗等
自己資本	11,166	10,818	+348	
一株当たり純資産(円)	2,685.7	2,602.2	+83.6	
有利子負債	8,828	7,853	+974	新規調達等
投下資本*	19,879	18,568	+1,310	

*投下資本 = 自己資本 + 有利子負債 (当社にリスクのないリース負債を除く)

	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
ROIC	4.4%	6.2%	-1.8%	
ROE	6.6%	7.8%	-1.2%	

	A. 22.3期末 見通し	B. 21.3期末 実績	A-B	備考
自己資本比率	45.7%	46.8%	-1.1%	
ハイブリッド社債考慮後*	49.3%	50.5%	-1.3%	
D/E比率	0.79	0.73	+0.06	
ハイブリッド社債考慮後*	0.66	0.60	+0.06	

*発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

22.3期見通しの対前年比較 - ③

億円	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,651	2,197	-546	
投資活動によるキャッシュ・フロー*	-2,590	-1,983	-606	
フリーキャッシュフロー**	-938	214	-1,152	

*見通しは投資額を記載

**フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

億円	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	690	688	+1	
成長投資	1,900	1,525	+374	
国内エネルギー	700	807	-107	
海外エネルギー	640	326	+313	
LBS	560	390	+169	
設備投資	1,960	1,894	+65	
減価償却費	<u>1,055</u>	1,014	<u>+40</u>	

*2021年5月13日に22.3期見通しを一部訂正。訂正箇所は下線を付して表示。

22.3期見通しの対前年比較 - ④

	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	9,680	9,401	+279	+3.0%	
連結ガス販売量(百万m ³)	6,987	7,157	-169	-2.4%	
(個別)ガス販売量	6,956	7,121	-165	-2.3%	
家庭用	1,695	1,862	-167	-9.0%	気水温影響の反動等
業務用等	5,261	5,259	+2	+0.0%	
国内電力販売量(百万kWh)	18,024	16,133	+1,891	+11.7%	

	A. 22.3期 見通し	B. 21.3期 実績	A-B	備考
平均気温(℃)	17.2	17.6	-0.4	

22.3期見通しの対前年比較 - ⑤

連結：億円	A. 22.3期 見通し*	B. 21.3期 実績*	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	14,050	13,641	+408	+3.0%	
国内エネルギー	11,700	11,583	+116	+1.0%	ガス事業における販売単価の上昇等
海外エネルギー	600	442	+157	+35.4%	北米事業の増収等
LBS	2,300	2,165	+134	+6.2%	材料事業の増収等
調整	-550	-551	+1	-	

セグメント利益**	945	1,261	-316	-25.1%	
国内エネルギー	455	855	-400	-46.8%	冬場の低気温影響の反動等
内、電力	150	148	+1	+1.1%	
海外エネルギー	310	168	+141	+83.6%	フリーポートLNGプロジェクトの増益、原油 価格上昇による豪州上流事業の増益等
LBS	190	192	-2	-1.3%	
調整	-10	43	-53	-	

タイムラグ差損益***	-119	16	-136	-	
(個別)ガス事業	-98	-16	-81	-	
電力事業	-21	33	-55	-	

*22.3期より、国内エネルギー・ガスと国内エネルギー・電力を国内エネルギーへ統合し、大阪ガスインターナショナルトランスポート(株)等を海外エネルギーから国内エネルギーに移管。併せて、大阪ガス(株)(国内エネルギー・ガス)に含まれる海外エネルギーのための営業費用を海外エネルギーに移管。

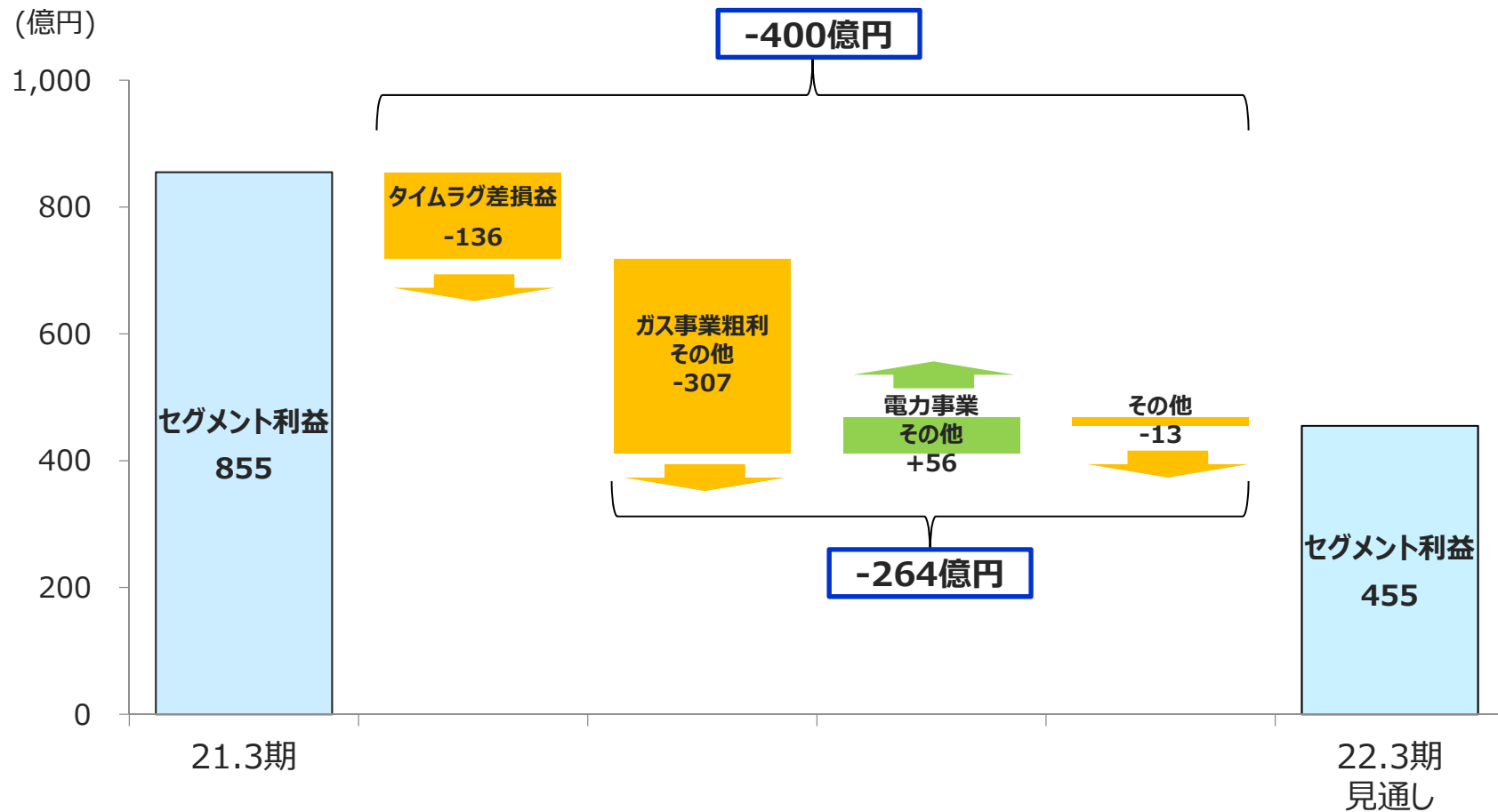
21.3期実績は新セグメントベースでの試算値

**セグメント利益 = 営業損益 + 持分法投資損益

***国内エネルギーの内数

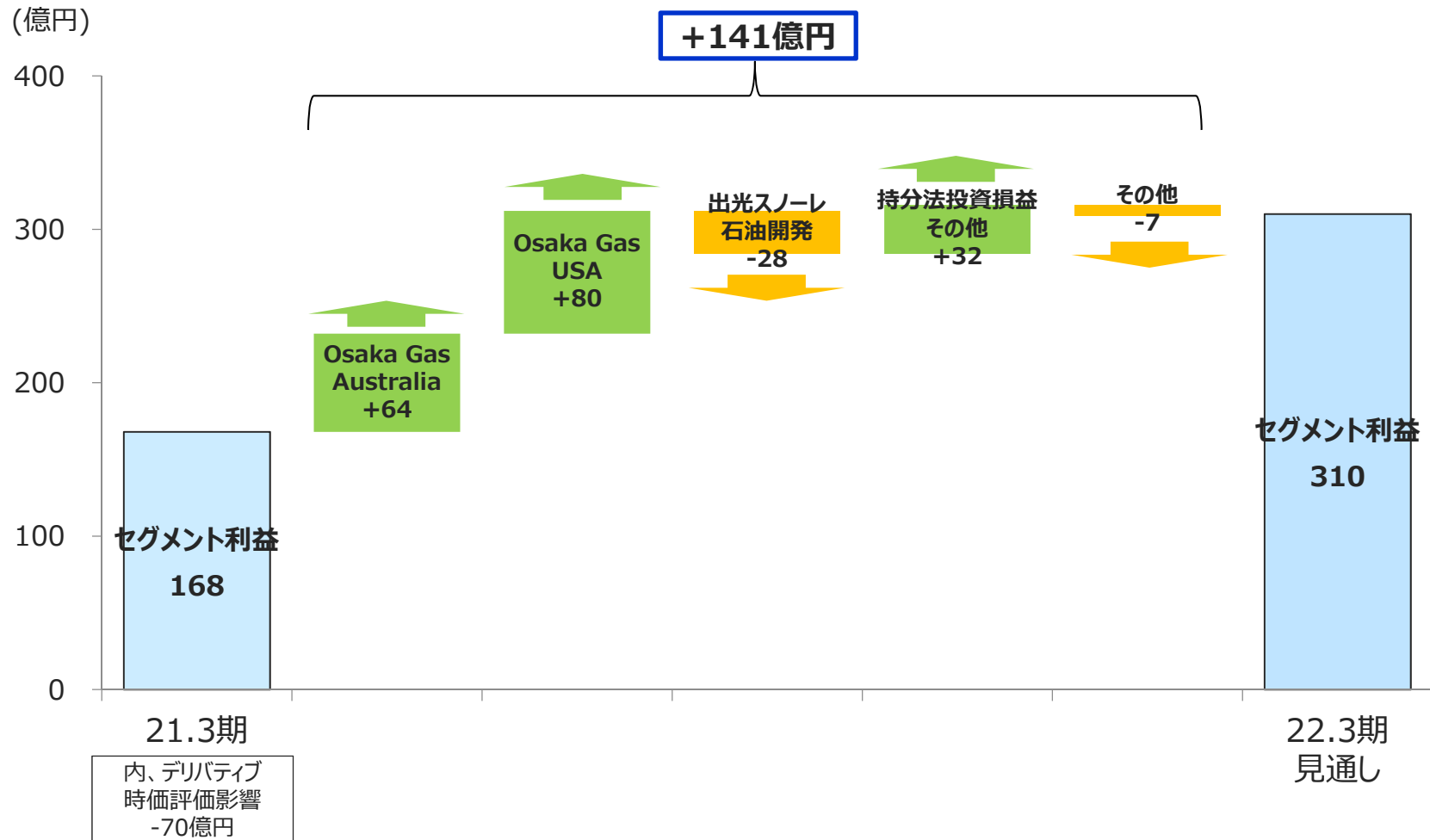
22.3期セグメント別見通し - 国内エネルギー

- ✓ 国内エネルギーのセグメント利益は、電力事業における販売量増による増益はあるが、冬場の低気温影響の反動、タイムラグ差損益の減益等により、前年から400億円減益の455億円



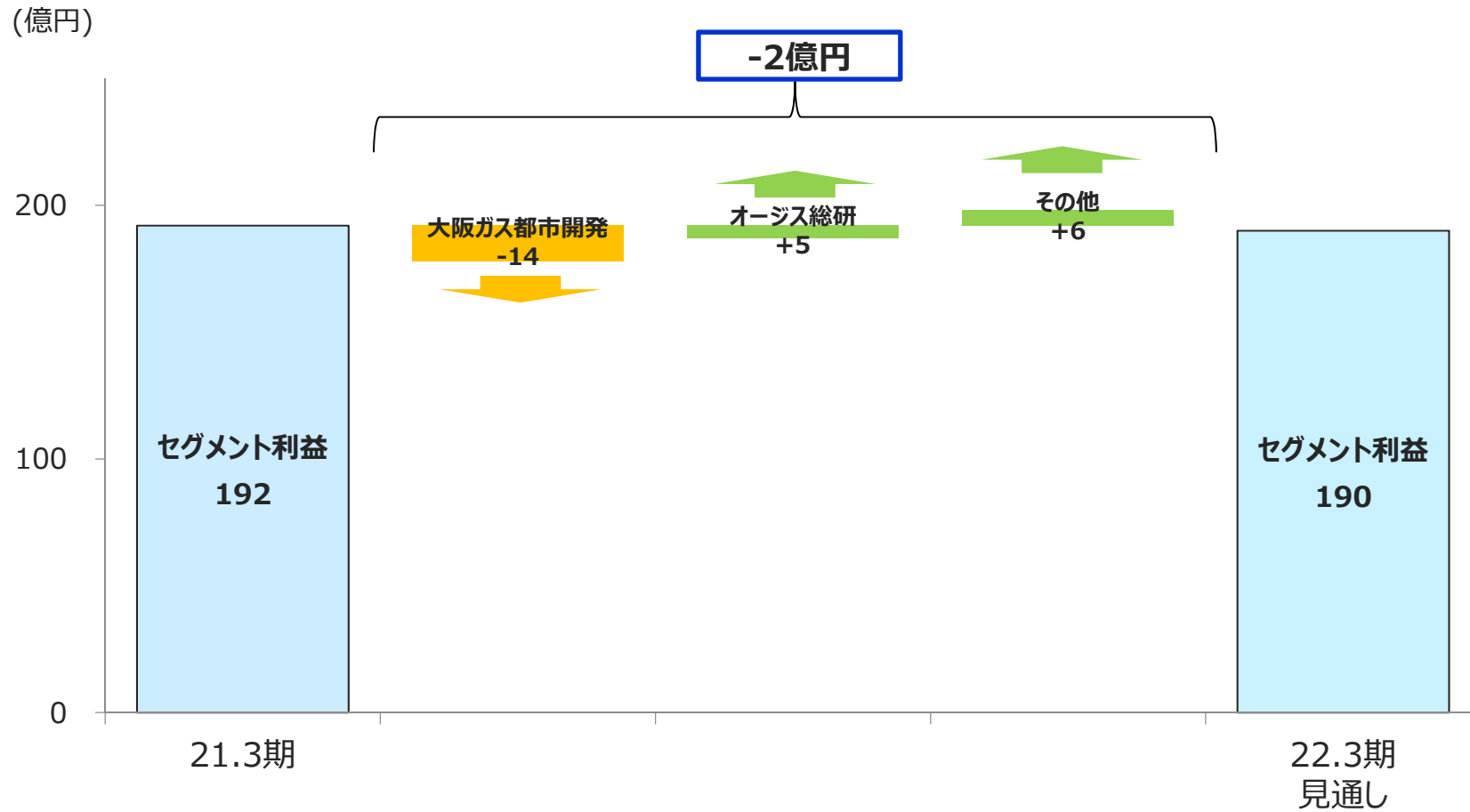
22.3期セグメント別見通し - 海外エネルギー

- ✓ 海外エネルギーのセグメント利益は、フリーポートLNGプロジェクトの増益、原油価格上昇による豪州上流事業の増益等により、前年から141億円の増益の310億円



22.3期セグメント別見通し – ライフ&ビジネス ソリューション

✓ ライフ&ビジネス ソリューションのセグメント利益は概ね前年並み



年度見通しに対するリスク要因

- **気温・水温**
 - 気・水温1度の変化に対し、家庭用ガス販売量は、春秋期約7%・夏期約8%・冬期約6%変動する可能性がある。
- **原油価格**
 - LNG価格が原油価格にリンクすることなどから、原油価格+1\$/bblの変化に対し、22.3期の連結経常利益は約-7億円変動する可能性がある。
- **為替レート**
 - LNG価格が米\$・円の為替レートにリンクすることなどから、為替レート+1円/\$の変化に対し、22.3期の連結経常利益は約-5億円変動する可能性がある。
- **原料費**
 - 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。
- **金利**
 - 金利+1%の変動に対し、22.3期の連結営業外費用が年間+16億円変動する可能性がある。